

風水害時の避難判断フローチャート

警戒レベル	避難情報	気象情報	とるべき行動
1	—	早期注意情報	災害への心構えを高める。 最新の気象情報に注意する。
2	—	大雨注意報 洪水注意報 高潮注意報	災害の危険性のある区域、避難場所、避難経路、避難のタイミングなどの再確認する。
3	高齢者等避難	大雨警報 洪水警報 高潮警報 氾濫警戒情報	避難に時間のかかることが想定される、高齢者、障がい者、妊産婦、乳幼児などとその支援者は危険な場所から安全な場所へ避難する。
4	避難指示	土砂災害警戒情報 氾濫危険情報	危険な場所にいる人は全員避難する。
5	緊急安全確保	大雨特別警報 河川氾濫 土砂災害発生	直ちに安全な場所で命を守る行動をとる。 避難が危険な場合は自宅の上の階や崖から離れた部屋に異動するなど、少しでも身の安全を確保するための行動をとる。

町から警戒レベル3の高齢者等避難が発令されたら、安全な場所へ避難を行ってください。ただし、高齢者等避難を待つ必要はありません。身の危険を感じたら安全な方法で避難を行ってください。

近くの学校といった避難所だけでなく、ハザードマップなどで安全と確認ができた親類、ホテルなどへ事前避難する、縁故避難やホテル避難といった方法もあります。

水害ハザードマップは、こちらでもご確認いただけます

